

渡辺ハウジングOBの皆様と
未来のお客様にお届けする

やすらぎ通信

渡辺ハウジング
03-3959-8743



今年も、いよいよ余日少なくなりました。

まさに「光陰矢の如し」の言葉通り、あっという間に1年が過ぎようとしています。

皆さんにとって、今年はどうな1年でしたでしょうか？

この時期になると、これからしなければならないことが頭をよぎり、強迫観念(?)に駆られます。

お歳暮、大掃除、年賀状とおせちの準備、等など
何から手を付けてよいのか・・・悩みますね。



今年は、コロナ感染の心配が少し減り、ひとの動きが活発になってはきましたが未だ油断はできません。

気を抜くことなく、しっかり体調管理をしつつお忙しい時期を
どうぞお元気で過ごしてください！

快適な生活をするために (13)

前回に引き続き、皆さんに長く安全に過ごしていただくための住まいを長持ちさせるメンテナンスやチェックポイントなどをお伝えしたいと思います。

住まいの室内環境

●結露

戸外の温度が低くなると、窓ガラスやアルミサッシの内側、壁の内側部分の表面温度が低い部分に結露することが多くなります。



結露を放置しますと、雨漏りと同じように居室や押入の壁の内側にカビが生えたり、家具や衣類などにも悪影響を及ぼします。

●換気

室内の湿気が多くなると結露の原因になりますので、一時的に窓を開けるなどして時々新鮮な空気と入れ替えて下さい。

洗濯物を室内に干している時、煙突のない石油ストーブなどを使用される場合は特に注意が必要です。

石油ストーブの場合、使用する灯油と同量の水蒸気が発生すると言われています。

●暖房温度に注意

結露は、外気と室内の温度差と湿気の関係で生じ、ガラス面が同じ温度の場合、室温や湿度が低いほど生じにくく、室温や湿度が高くなるほど生じやすくなります。

そんな結露を防ぐ為には、湿度を低くするよう換気を心掛けると共に、室内温度を必要以上に高くしないことが大切です。



次号に続く

「十二支のお話」

ある暮れのこと。神様が動物達に「元日の朝、私の所へ最初に到着したものから12番目のものまでを1年交代でその年の大将にする」と、お触れを出しました。動物達は、我こそが1番になるぞ!と張り切りましたが、ネコはその話を聞き洩らし、ネズミに尋ねました。するとネズミは、わざと1日遅れの日付を教えてやり、ネコはそれを真に受け帰っていきました。

元日、足の遅いウシが誰よりも早く出発すると、牛小屋の天井でこれを見ていたネズミが、こっそりウシの背に飛び乗りました。そんなこととは知らないウシが神様の家に行ってみると、夜明け前でまだ誰も来ておらず門も閉まったまま。我こそが1番とウシは喜び、門が開くのを待っていました。やがて日が昇り、門が開いた途端、ウシの背からネズミが飛び降りネズミが1番になり残念ながらウシは2番となりました。その後から、トラ、ウサギ、タツ、ヘビ、ウマ、ヒツジ、サル、トリ、イヌ、イノシシの順で到着しました。

1日遅れで出掛けたネコは番外となり、それ以来、ネズミを恨んで追い回すようになったとか・・・?



心の支え



♪♪ 母さんが夜なべをして・・・♪♪

「夜なべ」という言葉自体を、ご存知ない方もいらっしゃるかもしれませんが、とても懐かしい歌です。

私は、いつもこの歌を聞くと、北国出身のある1人の女性の話を思い出します。

ずいぶん前のことですが、今でも忘れられません。皆さんにもお伝えしたいと思います。

私の母は、この歌の母さんと同じなの。

「決して他人に迷惑をかけてくれるな。
そして、他人の心を気遣う人になって欲しい」

母は、機会あるごとに、そう私に話していましたが、雪が降り、もうすっかり寒くなった北国で、“モンペ姿”で、常に忙しく動き回っている母を思う時、人生の道しるべを、母が示してくれたのだと感謝せずにはいられません。

「何処で、どんな生き方をするにせよ、与えられた人生にひたむきであること。

そして、誰かの心の中にしっかりと根を張り、その人を強くするように力を養うこと」

母から教わった私の人生観です。

仕事や家事、その他諸々のことにバタバタ忙しい日々を過ごしていると、つい考えることを忘れかけた自分がいます。それにふと気づいた時に、私は母を思い出して、自分自身に“喝”を入れています。



私はこの話を聞いた時、本当に感動しました。なんて強くて、優しいお母さんなのだろう、って・・・。

厳しい環境の中でも、しっかりと大地に足をつけて生きている姿こそ、まさに人生の道しるべを示してくれているようです。

さて、皆さんは、どうお感じになりましたか？

♪♪ 木枯らし吹いちゃ・・・♪♪

遠く離れて暮らす家族を思いやる愛情は、何にも勝る大きさ・強さを感じますね。



人それぞれ人生観なり、ものの見方、考え方は異なるのですが、何かひとつ人生の指針となるもの、あるいは目標を持つことは、とても大切なことだと思います。

有意義な、そして楽しい人生を歩むためにも、何か“心の支え”となるものを持ちたいものですね。

「編集後記」

「師走」この言葉を聞くと、残り少なくなった日々を数えながら1年を振り返り、つい反省ばかりが思い浮びます。皆さんは、年頭に計画した通りのことができましたでしょうか。年々、時間の経過が早く感じられ、私の時計は壊れているのでは？と思うほどです。

悲喜交々、今年もいろいろなことがありましたが、中でもソ連・ウクライナ戦があまりに長く続き、心が痛みます。いつも犠牲になるのは、罪のない弱者。

無意味な戦いが1日も早く終結することを願います。

さて、今年も、皆さんのお力添えで、無事に過ごすことができましたこと、あらためてお礼申し上げます。

本当に有難うございました。

新しい年になりましても、変わらぬお付き合いをよろしくお願いいたします。

少し早いのですが、皆様お揃いでどうぞ良いお年をお迎えください！！



「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。ご希望の方は、アドレスをお知らせください。

渡辺ハウジング 社員一同